



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

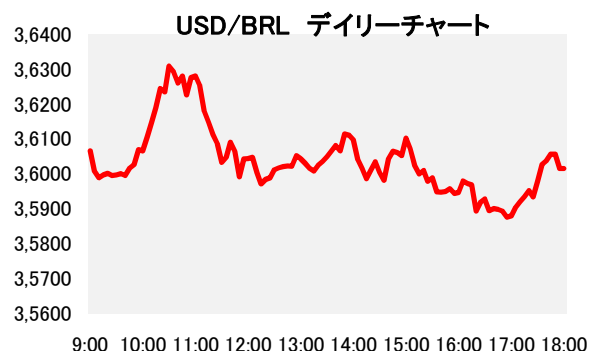
1. マーケット・レート

			5月25日	5月27日	5月30日	5月31日	6月1日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,5830	3,6110	3,5690	3,6110	3,6010	-0,0100
	BRL/JPY	Spot	30,75	30,54	31,03	30,67	30,37	-0,30
	EUR/USD	Spot	1,1155	1,1116	1,1139	1,1131	1,1189	+0,0058
	USD/JPY	Spot	110,19	110,32	111,14	110,68	109,56	-1,12
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13,791	13,760	13,786	13,790	13,700	-0,090
	Future	1Year(p.a.)	13,258	13,321	13,188	13,210	13,059	-0,152
	On-shore	6MTH(p.a.)	2,830	2,940	2,848	2,827	2,734	-0,093
	USD	1Year(p.a.)	3,009	3,006	2,970	2,973	2,833	-0,140
株式	Bovespa指数		49.483	49.051	48.964	48.472	49.013	541
CDS	CDS Brazil 5y		350,98	351,34	350,88	364,60	360,88	-3,72
商品	CRB指数		185,300	186,137	186,137	186,153	186,825	+0,67

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

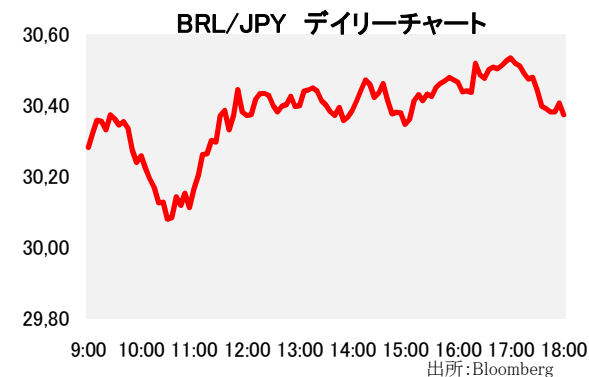
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.69%	0.64%	0.68%
GDP(前期比)	-0.8%	-0.3%	-1.3%
GDP(前年比)	-5.9%	-5.4%	-5.9%
GDP(4四半期累計)	-4.8%	-4.7%	-3.8%
マーケット・ブラジルPMI製造業	--	41.6	42.6
貿易収支(月次)	\$5600m	\$6437m	\$4861m
総輸出	\$16725m	\$17571m	\$15374m
総輸入	\$11118m	\$11134m	\$10513m



3. 要人コメント

メイレス伯財務相	今後、GDPの成長率は上昇する見込みである
----------	-----------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.6100で寄り付いた後、テメル暫定政権に対する懸念からレアルは反落、本日の安値となる3.6350を付けた。しかし第1四半期の伯GDP成長率が予想程落ち込まなかったことが買い材料となり、レアルは3.60台前半まで回復、引け間際に本日の高値となる3.5860を付け、結局3.6010でクローズした。
- 本日発表された米FRBのページブックによれば、米経済は4月半ば以降、大半の地域で緩慢なペースで拡大し労働市場は引き締まった。「雇用は前回の報告以降に緩慢なペースで増加したものの、労働市場のタイト化が広範に認められた」と指摘した他、「賃金は緩慢なペースで伸び、物価圧力は大半の地区でわずかに強まった」と記された。
- 伯GDP成長率が良好な結果を示したことを背景に、ボベスパ株価指数は約1%上昇した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。